

のだネット通信



中核地域生活支援センター のだネット (千葉県委託事業・野田健康福祉圏域)

TEL 04-7127-5366 / FAX 04-7127-5367

〒270-0235 野田市尾崎840-32 / E-mail noda-net.kusunoki@nifty.com

<http://homepage2.nifty.com/noda-net/>

★事業所紹介★

地域活動支援センター「さくら」開所！！



住 所：野田市柳沢 210-15 (岡田病院前)

電 話：04-7124-6285

開所日時：月～金 (土日祝日休み) 9:00～16:00

定 員：19 名

センター長：高島 義光氏

スタッフ：7 名 (内精神保健福祉士 2 名)

事業内容：幼児雑誌の付録詰め

お菓子の箱詰め等

園芸福祉への参加

相談業務 (就労相談)

市、岡田病院が行う行事参加 (バス旅行等)



設備：

作業室・食堂・静養室

相談室・ロッカールーム

車イス対応トイレ

室内はとても明るく、バリアフリー設計！！

平成 19 年 9 月 1 日、啓心荘共同作業所が移転し、新たに地域活動支援センター「さくら」として開所しました。

利用者さんは現在 18 名。在宅の方とグループホーム入居の方が通われています。

10 月 19 日、センター長の高島氏にセンター内を案内していただき、お話を伺いました。

『“自立の芽”は皆持っている。精神障害者はその環境が整っていないだけ。植物は「水・光・栄養」で育つ。その「水・光・栄養」の役割がスタッフ。環境を整えば、自然に自立していくことが出来る。』

新しいことが売りでなくて“慣れ親しんだ”所として、スタッフと利用者が信頼関係でコミュニケーションをとれる「今日も行こうかな」と思える所にしていきたい』

「さくら」の名前の由来は、運営主体の精神障害者家族会「さくら友の会」からつけられたそうです。

コーディネーター便り



最近、障害年金の申請に関わる中で、消えていた年金番号が発覚したケースが2件もありました。もらえるはずの障害年金がもらえないままの方が多く居るのだろうと思うと憤りを感じます。(五十嵐)

以前、広報誌で青年学級(中央公民館に申し込む)の特集を組んだところ、グループホーム等の入居者の方々の参加も増えました。これから調理実習やクリスマス会などイベントが沢山あります。多くの人達の参加をお待ちしています。(佐々木)

福祉サービスの利用をされている、在宅障害者の方々の相談の中にケアプランの見直し、契約の立会い等の依頼があります。事業所を交えてのケース会議も開催しています。ご相談下さい。(金城)

10月7日、こぶし園・あすなろ職業指導所・あおい空・野田市福祉作業所の合同運動会を応援に行ってきました。夏が戻ったような晴天の中、暑さに負けず頑張る皆さんの姿が印象的でした。(西野)

お知らせ

はじめよう!
NPO・地域事業入門講座

日時:11月6日(火)13:30~16:00
会場:エルコープのだ あたご店
参加費:500円(当日持参)
定員:20名(先着順)

地域福祉編

地域で暮らすために、介護保険制度や障害者自立支援法等の制度がありますが、それだけでは暮らせない現状があります。そんなニーズに取り組んでいる活動事例や課題についてお話しします。見学や現場研修、イベント参加も受け付けます。

「地域福祉の現状と課題」 中根 裕氏 (NPO 法人全国移動サービスネットワーク)

「地域活動って何?」 岡田 哲郎氏 (NPO 法人 NPO 支援センターちば)

「事例報告」 桐山 昌之氏 (園芸ファーム おーい船形促進隊)

高村 哲氏 (移動ネットワークちば)

「個別相談会」講座終了後、講師・スタッフが相談を受けます。

【お問い合わせ・申し込み先】

特定非営利活動法人 地域創造ネットワークちば

TEL 043-270-5601 / FAX 043-270-5602



授産品販売会

あすなろ職業指導所

11月13日(火) 10:00~15:00

ショッピングセンター ノア(ジャスコ)にて!

★ おいしいパンやクッキー、素敵な織物などなど…販売します!
是非、足を運んで見て下さい。

NHKハート・フォーラム

LD等発達障害のある子どもたちに必要な教育とは ～就労・自立を目指して～

日時：平成19年11月17日(土) 午前10時30分～午後3時30分

会場：千葉市民会館 小ホール

定員：300名(入場無料) 事前の申し込みが必要です

10:40～11:00 「特別支援教育の現状と課題」

山岡 修氏(全国LD親の会会長)

11:00～12:00 「アメリカにおける発達障害者への就労支援」

梅永 雄二氏(宇都宮大学教授)

13:00～15:30 シンポジウム「自立に向けて学校教育でできること」

鈴木 郁夫氏(千葉県教育委員会 特別支援教育課 支援推進室指導主事)

大山 京子氏(船橋市立船橋小学校 軽度発達障害通級指導教室「ふなっこルーム」)

樋口 節子氏(千葉県発達障害児・者親の会「コスモ」会長)

杉田 明氏(障害者就業・生活支援センター センター長)

<指定討論>

梅永 雄二氏(宇都宮大学教授)

山田 純子氏(植草学園短期大学教授)



申込方法：はがき、FAXで、郵便番号、住所、お名前、電話番号、参加希望人数をお書きの上、下記にお申し込み下さい。

〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1 NHK厚生文化事業団「11/17千葉」係

電話：03-3476-5955/FAX:03-3476-5956

高齢者 虐待防止

シンポジウム

日時：11月17日(土)13:30～16:30

会場：千葉県教育会館 大ホール

参加費：無料

定員：500名(申込先着順)



<基調講演>

「高齢者虐待防止法の目指すもの」田中 荘司氏(日本高齢者虐待防止センター理事長)

<シンポジウム>

(行政の立場から) 松戸市介護支援課 介護予防推進担当室 副看護師長 長谷川 明美氏

(介護サービス従事者の立場から) 介護支援専門員指導者 助川 未枝保氏

(権利擁護の立場から) 千葉県弁護士会 高齢者・障害者支援センター委員 笠原 郁子氏

(認知症高齢者の介護者立場から) 認知症の人と家族の会 世話人 山口 貴美子氏

(地域住民の立場から) 船橋市海神地区民生委員児童委員協議会 会長 宇佐美 欽也氏

★コーディネーター あおぞら診療所新松戸 理事長 和田 忠志氏

※お申込は、住所・氏名・参加希望人数を書いて、はがき又はFAXで事務局へ

【事務局】千葉県健康福祉部高齢者福祉課

〒260-8667(住所省略可) FAX 043-227-0050 / TEL 043-223-2237

「自分で守ろう！ こころの健康」 ～生きる力 支える力～



日 時：11月25日（日）11:00～18:00

会 場：松戸市民会館 大ホール

主 催：NPO 法人 こころの健康を創造する会 creationHIT 「HIT の会」

参加費：会員（500 円） 非会員（1,000 円）

<第1部>11:00～12:00

「ピアサポートで元気になろう！」～千葉県こころの病・経験者ネットワーク設立に向けて～

土屋 徹氏（Office 夢風舎）

<第2部>13:30～16:00

カリフォルニア患者会「プロジェクト・リターン・ピアサポート・ネットワーク」講演会

<第3部>16:30～18:00

「薬って何？」～後発品医療薬品の使用を含めて～

政田 幹夫先生（福井大学医学部教授）

申し込み方法：氏名、参加人数（第何部に参加）、入会案内の要・不要、住所、電話、FAX を記入の上事務局へ（メールでも可）

事務局：中能美香（なかよく） 千葉県流山市南流山1-14-7 ひだクリニック内

TEL&FAX 04-7157-9855

Eメール：hitnokai@hotmail.co.jp

思春期講演会 思春期・青年期の抑うつ気分

リストカット、いじめ、拒食、過食など思春期青年期の心と身体の揺れをご一緒に考えてみませんか？

日 時：平成19年12月4日（火）14時～16時

会 場：千葉県文化会館 小ホール（千葉市中央区市場町11-2）

講 師：安藤 咲穂先生（済生会習志野病院 精神科医長）

対 象：一般県民、ご家族、教職員、相談従事者等関係者

★入場無料・申し込み不要（先着250名）

主 催：千葉県精神保健福祉センター



編集後記 11月は「児童虐待防止月間」で、今年度の標語は『きこえるよ 耳をすませば心のさけび』です。虐待を受けている児童の叫びはもちろんですが、虐待をしている方の「心の叫び」も聞こえてくるように思います。虐待しなくてすむような子育て、その支援をまず考えたいと感じます。



（のだネット職員：山本・金城・五十嵐・佐々木・西野）